

2019年2月26日

報道関係各位

空調設備設計ソリューションと建築設備専用 CAD「Rebro（レブロ）」の連携を強化
世界最大手空調機メーカーのダイキン工業と業務提携

株式会社 NYK システムズ（本社：東京都中央区、代表取締役：渡辺洋一郎。以下、NYK システムズ）は、世界最大手の空調機メーカーであるダイキン工業株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長兼 CEO：十河政則。以下、ダイキン工業）と、BIM（Building Information Modeling）※に対応した建築設備 CAD「Rebro（レブロ）」と連携して空調設備設計や運用管理の効率化を図るシステムの共同開発ならびにソフトウェアの販売について、協業することで合意いたしました。

昨今、建設業界では人手不足により設計者や施工者の負担が増加しており、データ上での不整合チェックによる手戻り減少や物件に携わる関係者間での正確で素早い合意形成など、業務の効率化や高度化に繋がる BIM の活用が設計事務所や総合建設業者、専門工事業者等で普及し始めています。また、BIM 対応の建築設備 CAD ソフトは建物設備に関するデータを統合して管理できるため、建物竣工後のメンテナンス、運用管理データベースとして活用することも期待されており、建物管理会社、建物オーナーなどへとその活用領域を拡大しつつあります。

そのなかで、NYK システムズは BIM 対応の建築設備 CAD「レブロ」を開発、各種 BIM ソフトと連携し設備設計業務の効率化を図るツールとして提供を行ってきましたが、自動作図や自動技術計算など更なる利便性を求められており、設備設計機能の拡充が課題でした。

このたび、建築設備 CAD ソフト『FILDER』や、BIM と連携したクラウド型空調設計支援システム『DK-BIM』など、設備設計業務の効率化を図るシステムの開発と提供を行ってきたダイキン工業と協業することにより、メーカーの持つ空調設備設計のノウハウを活用し、設備設計やその後の管理も含めて統合的に支援できる IT 環境づくりを進めます。

本協業により、設計事務所、総合建設業者、専門工事業者、建物管理会社、建物オーナー等の業務効率化による生産性向上を目指し、グローバルに BIM を活用した空調設備設計ソリューションを推進していきます。

※：コンピュータ上に作成した 3 次元の建物のデジタルモデルに、コストや仕上げ、管理情報などの属性データを追加した建築物のデータベースを、建築の設計、施工から維持管理に至るまでのあらゆる工程で

■協業テーマ

【1】空調ソリューションにおける設備設計支援システムの共同開発

空調の設備設計、エンジニアリング、施工、運用管理、保守メンテナンスといった「空調バリューチェーン」において、BIM データを活用してお客さまの業務効率化や生産性向上を実現する設計支援システムの共同開発に取り組みます。BIM に含まれる建築設備の属性データを活用し、負荷計算やシミュレーション等を行うことで、これまで手作業で行っていた業務の自動化を図ります。

第一弾としては、ダイキン工業のクラウド型空調設計支援システム『DK-BIM』と NYK システムズの「レブロ」との連携を強化し、BIM モデルを活用した熱負荷計算、空調機器自動選定、自動配置、冷媒配管選定などの機能強化を図ります。

【2】建築設備 CAD ソフトの販売協業および共同開発

従来よりダイキン工業が専門工事業者を中心に販売している建築設備 CAD ソフト『FILDER』シリーズと、NYK システムズの「レブロ」とのデータ互換性を強化し、両社の CAD ソフトを利用するお客さまの利便性向上を図ると共に、今後の BIM 拡大に向けて必要とされる新機能の開発を共同で行います。

また、2019年2月よりダイキン工業の販売網を通じて「レブロ」を販売展開し、『DK-BIM』や『FILDER』シリーズを含めて、お客さまの目的や課題に応じた最適な IT 環境を提案・構築するサービスを開始します。

【ダイキン工業株式会社の概要】

- 1) 会社名：ダイキン工業株式会社
- 2) 所在地：大阪府大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル
- 3) 資本金：85,032,436,655 円
- 4) 設 立：1934年2月11日
- 5) 代表者：取締役社長 兼 CEO 十河 政則
- 6) 事業内容：空調・冷凍機、化学、油機、特機、電子システム
- 7) 従業員数：単独 7,036 名（2018年3月31日時点）